

「豊かな教育を子どもたちに」

I 研究内容

1 研究内容の具体的内容与方法

(1) 甲州支会と山梨支会に分かれ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会…『豊かな教育を子どもたちに』

○文書処理規程について

○P D C Aサイクルを生かした予算要求活動

財務処理にP D C Aサイクルを当てはめての研究、文書処理の視察研修を通して甲州市での取扱いについての研究。

イ 山梨支会…『豊かな教育を子どもたちに』

○前年度決算・当初予算推移の結果分析

○市内のP C活用について

「本年度当初予算・前年度決算の分析」、市内のP C活用状況、「市事務担当者会との連携」について研究。

(2) 東山梨教育環境研究の作成に協力するため「教育財政の実態」と「教育環境の実態」についての調査を実施。すでに達成された項目の削除、新たな調査項目の検討を行い、教育環境の整備に努める。

II 成果と課題

1 成果

(1) 甲州支会

財務処理をP D C Aサイクルに当てはめ、意識化していくことをめざした。事務職員としては意識することはできたようだが、P D C Aサイクルはどこに力点を置くかによっていろいろ変わってくるのでその辺を理解して職員へも広めていきたい。今回は予算要求を中心に考えたが、予算要求書作成を計画(P)、予算要求・ヒアリングを実行(D)、予算分析を評価(C)、予算執行を改善(A)と位置づけ研究を進めた。文書処理規程については、北杜市の実践事例を視察したことにより、甲州市の取扱いについて文書処理規程と文書分類表を公開や開示を念頭にして制定する方向で研究を進めた。

(2) 山梨支会

学校予算について前年より継続して決算・推移分析を行ったが、校内での職員会議資料や、市教委との予算ヒアリング時に有効に活用することができた。推移の数値を入力してデータを作成する作業を行うことによって、改めて自分自身でも配当予算の推移を確認することができる。また、各校の予算推移を持ち寄り、学校の実態と併せて分析の説明をしてもらうことによって、山梨市全体の状況を把握することができる。市の財政が厳しい中、来年度の学校行事に市の庁用バスを利用できることとなり、運用について検討することができた。

2 課題

(1) 甲州支会

P D C Aサイクルを取り入れた予算要求のあり方（予算分析、予算要求、意見交換）について、予算執行計画をP（計画）とするP D C Aサイクルを当てはめた場合、予算分析をどの時点で実施するか等の課題がある。文書処理規程については、視察した北杜市では制定までに4年ほどかかった経過があるとのことで、実際、甲州市内の小・中学校でも各校の文書処理はまちまちであり、学校での書式や処理手順も様々なものがあることがわかった。規程の条文は今年度決定したが、様式については来年度の継続研究として取り組みたい。

(2) 山梨支会

市の財政が厳しい中、来年度以降消費税率が上がり、今まで以上に厳しい執行状況が予想されるため、限られた配当予算の有効活用について継続して研究を行いたい。「校務支援システム」の視察研修での学習により、市内のP C活用状況の見直しや改善について検討できたので、来年度は事務職員のP Cについてフォルダ内の整理と市内統一フォルダの整備を進めたい。また、毎回情報交換を取り入れているが、事務処理の疑問や課題解決に繋がるため、今後も情報を密にしながら研究を進めていきたい。

(3) 全体として

来年度も同一会場での支会ごとの分散会形式をとり、折々に情報交換を行っていきたい。東山梨教育環境研究の「教育環境の実態」項目について、校舎等の耐震欄については措置が完了したので、新たな調査項目として、防災対応のガラス整備状況と充足率の低い理振教材の整備状況の欄等を追加した。来年度以降の調査結果を見ながら、その都度、項目の改訂を行っていききたい。

III 成果物

1 甲州支会

- 予算分析調査（分析表・試算表・分析グラフ）
- 予算に関わる要望書
- 職員会議提案資料（予算要求にむけて）

2 山梨支会

- 学校配当予算分析表，学校配当予算一覧表，学校配当予算・決算一覧表
- 共通予算要望書
- 市事務担当者会との連携

（部長 池田はるな）